

公益財団法人第五福竜丸平和協会

2022(令和4)年度事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日

2022年(令和4)年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対策をおこないつつ、第五福竜丸展示館および公益財団法人事業を展開した。コロナ感染の拡大が一定程度抑えられる傾向のあるなかで年間来館者は、通常年の平均10万人の約6割、6万6千人となり、修学旅行・社会科見学が最も多い5月は一万人近い来館者があった。

学校の団体見学に際しては、クラス単位での説明を展示館入口付近の屋外で実施し、そのあとに時差をつけて館内の見学を行うなどの対応をとった。

春と秋の2回の展示替は、春に「ラッセル=アインシュタイン宣言コーナーのリニューアル」を実施し、10月から年度末までは「世界のヒバクシャ～核開発・核実験のもとで」展の実施、さらに関連イベントを開催した。2023年「3・1ビキニ記念のつどい」は、会場で対面にて参加をよびかけておこない100名余が集い好評であった。

2024年はビキニ水爆実験被ばく70年の節目の年となる。2月25日には諸役員による70年事業に関する懇談会を設け、具体的な事業計画の立案作業をスタートさせた。

こんにち核兵器をめぐる懸念される状況がつづくなかで、第五福竜丸展示館と公益財団法人としての平和協会が、核被害・被ばくを伝えるさらなる工夫と福竜丸船体・エンジン等が保存されている意義を踏まえて、諸事業をすすめることが求められる。

1. 公益法人のかなめの事業

① 展示館業務

- ・当年度、展示館管理は定められた休館日を除き308日間実施した。
- ・来館者総数は66000人(前年31,239人)、うち団体見学数は384団体(うち小学校41校2019人、中学校69校3743人、高校31校1028人、大学55校647人、その他の青少年団体13団体314人、一般団体175団体2414人)、一般来館者は55835人であった。
- ・学校団体への展示解説は屋外で実施するようにし、同時に入館する人数は時差を設けるなどして案配した。館内ではより理解が深まるよう見学のサポートを行った。学生のレポート課題、卒業論文、自由研究への助言のほか、研究者へのレファレンス対応などを行った。
- ・常設展示に英文の解説カードを新設した。

- ・カラー版「展示館のしおり」を広報宣伝に活用した。学芸員の講演会場、パネル貸出会場での配布などにも活用した。
- ・第五福竜丸展示館、及び第五福竜丸平和協会の取り組みを広報する「福竜丸だより」を計6回発行した。(各1000部、賛助・ニュース購読会員、協力者・協力団体等に郵送。館内外での配布)。7月には2021年度年事業の年次報告書を発行し配布した。

②新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み

前年度に引き続き、以下の点に留意して業務を行った。

- ・ 職員の健康管理（検温、体調のチェック）とマスク着用を行った。
- ・ 入口に注意喚起の掲示を設置した。
- ・ 手指消毒を励行し、映像展示のスイッチを一部非接触にするなどの処置を引き続き行った。
- ・ 「密集しないでください」というポスターを館内6か所に設置した。館内の人数が多い場合には、十分に換気するようにした。
- ・ トイレに液体石鹸、ペーパータオル、ごみ箱を設置し、手指洗浄のための啓蒙ポスターを掲示した。
- ・ 階段手すり、トイレドア、鍵、便座周辺を適宜次亜塩素酸水で消毒した。
- ・ 受付カウンターにアクリル板を設置した。
- ・ 接触を要する展示物の中止、長時間滞在を避けるためベンチの撤去、資料閲覧コーナー中止を行った。

③ 企画展・展示替等の取り組み

第1回展示替え ラッセル＝アインシュタイン宣言に関する展示のリニューアル

パネル展示を見やすいものにし、あらたに映像展示を設置した。映像①ではラッセル＝アインシュタイン宣言に署名した11人の科学者の写真とプロフィールを紹介し、映像②では、マーシャル諸島共和国のトニー・デブルム元外相と詩人で環境活動家のキャシー＝ジェトニル・キジナーさんによる、核による環境被害と気候危機に対して問題提起する証言（坂田雅子監督の映画「故郷を追われて」より抜粋）を展示した。

第2回展示替え 10月8日～3月26日 企画展「世界のヒバクチャー核開発・核実験のもとで」

世界のヒバクチャー50人の顔写真によるイメージバナー／16人のポートレートと証言／解説バナー8点、フォト・ジャーナリスト豊崎博光愛用のカメラで構成し、日英併記とした。関連企画として、ギャラリートークを2回実施（10月23日、12月4日）した。トークの記録をYouTubeで公開した。

3・1ビキニ記念のつどい

2023年2月25日、夢の島マリナーナで「3・1ビキニ記念のつどい」を開催した。第一部は映画『故郷を追われて』（坂田雅子監督、2021年）の上映につづき、豊崎博光さんの講

演。第二部は、アーティスト・瀬尾夏美さん、文学研究者の一谷智子さん（西南学院大学）を迎えてトークをおこなった。100名を超す人が参加した。

④ 第五福竜丸・ビキニ事件、世界の核被害を伝える取り組み

現物資料・展示用パネルの貸し出し、映画「西から昇った太陽」の普及に取り組んだ。学芸員が非常勤講師を勤める大学（中央大学、立教大学、恵泉女学園大学）での講義のほか、ゲストスピーカーとしての講義、市民団体主催の学習会での講演等で第五福竜丸、ビキニ事件について伝える機会をもった。

【資料貸出・パネル展等】

6月16日～6月27日	三重県生協連
7月15日～9月1日	浦安市
7月23日～8月1日	多摩市平和展
7月25日～8月4日	原水爆禁止西宮市協議会
7月28日～8月8日	生活協同組合パルシステム埼玉
8月4日～8月9日	鹿児島県曾於市原爆パネル展
8月18日～8月25日	愛媛県平和運動センター
9月23日～9月27日	神奈川学園
9月30日～10月28日	中野区
12月15日～12月18日	株式会社ディヴァイン
12月20日～12月26日	731部隊展実行委員会
2月16日～3月9日	新婦人美濃加茂支部
2月20日～2月28日	帯広原水協
2月26日～3月14日	ユーコープかながわ
3月20日～3月21日	平塚YWCA

以上、展示15か所

【映画「西から昇った太陽」貸出】

3月18日 みうらピースデー 三浦地区労働組合協議会

【学芸員講話・講演・執筆等】

4月2日	全日本民医連（オンライン）
4月18日	埼玉土建主婦の会
5月7日	ネットラジオ「Hihukusyo ラジオ」出演とバーチャルガイド
5月9日、16日、23日	明治学院大学「広島・長崎講座」
5月20日	早稲田大学文化構想学部特別講義
6月22日	三重県生協連

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 6月22日 | 9条地球憲章の会（オンライン） |
| 7月15日 | 横浜国立大学特別講義 |
| 7月23日 | 多摩市平和展 |
| 8月15日 | 戦争を阻止する母親平和行進（仙台市） |
| 8月20日 | 牛乳パックでつくろう第五福竜丸 in 伊勢 |
| 8月20日 | 杉並区制90年「原水爆禁止署名」記念講演 |
| 10月2日～23日 | コミュニティFM「記憶のダイアリー」出演 |
| 10月19日 | 新日本婦人の会60年のつどい |
| 10月24日 | インターネット配信「テレビNOOK」出演 |
| 10月28日 | 毎日メディアカフェ「第五福竜丸～その数奇な運命を語る」 |
| 11月1日 | 徳島県立城東高校人権講座 |
| 11月4日 | 三輪田学園中学校 |
| 11月5日 | 人権スコラ（オンライン） |
| 11月11日 | 神奈川学園中学校 |
| 11月12日 | カトリック船橋学習センターガリラヤ |
| 11月15日 | 横浜国立大学 |
| 11月27日 | 恵泉女学園大学 |
| 11月28日 | 神奈川県民医連「平和の学校」 |
| 12月2日 | 青山学院大学 |
| 12月14日 | 都立有徳高校特別授業 |
| 1月25日 | 福島民医連3・1ビキニ学習会 |
| 2月21日 | 神奈川県原水協 |
| 3月1日 | 原水禁国民会議「3・1ビキニデー全国集会」 |
| 3月18日 | みうらピースデー |
| 3月12日 | 静岡・エバーグリーン |
| 3月21日 | 平塚YWCA |
- ・ 「月刊 社会運動」8月号 「若者の学びと第五福竜丸展示館の役割」（蓮沼佑助）
 - ・ カトリック正義と平和協議会「JP通信」（市田真理）
 - ・ 「Iおんなの新聞」（市田真理）
 - ・ 『戦争社会学研究』Vol.6 「記憶をつなぐ船・第五福竜丸―被ばく者大石又七との協働を通して」（市田真理）

⑤船体・エンジン等の保存のための検討作業

- ・ 2022年度は、6月29日に第6回船体等保存検討委員会をオンラインで開催し、委員からの提案を受け、7月22日文化財建造物保存技術協会及び、7月28日いかり消毒による視察が行われた。また2月14日、神奈川大学の和船研究者・昆政明教授と懇談し、保存に関する助言をおおいた。

- ・ 7月4日には4回目となる三次元測量を実施した。
- ・ 船体内部のカビ・害虫調査の際に東京文化財研究所からの助言に従い、カビの発生を抑制すの発生を抑制する目的で船体内部の清掃を12月10日に行った。
- ・ エンジンの保存対策として8月30日に学生ボランティアの協力のもと、エンジンの清掃及びタンニン酸とエタノールの混合溶液の塗布を行なった。

⑥ その他

【特記事項】

- 4月5日 東京都地域婦人団体連盟（東京地婦連）が植樹した桜のお花見
- 4月21日 展示館ボランティア学習会 「又七の海」視聴 ディレクターのおはなし
- 6月8日 文化放送 アーサー・ビナード「ラジオぽこりぽこり」を館内で収録。三重県伊勢市より船大工・木村九一さんとの対談ほか
- 6月10日 ペンシルベニア州立大学スーザン・リンディ教授来館
- 6月12日 福竜丸サポーターズ 久保山記念碑まわりの除草と碑の清掃
- 6月18日 第26回反核マラソン出発
- 7月2日 港区平和青年団研修とワークショップ
- 7月10日 中央大学法学部ゼミ見学会、奥山代表理事が特別講義
- 7月27日 杉並区次世代育成基金活用事業、広島派遣の中学生見学会
- 7月29日 高校生一万人署名東京支部見学会
- 8月2日 とうきょう総文2022（第46回全国高等学校総合文化祭）」に参加の高校新聞部員50人が来館・取材
- 8月20日 高校生平和ゼミナール（沖縄、埼玉など）見学会
- 8月30日 第五福竜丸サポーターズによるエンジンのサビ止め薬品散布
- 9月17日 ボランティア有志で久保山愛吉記念碑、マグロ塚周囲の草取りを実施
- 9月23日 久保山忌。久保山忌句会、平和を語る第五福竜丸のつどいなどが開催され、参加者が久保山愛吉記念碑に献花をおこなう
- 10月23日 企画展ギャラリートーク 大学生ら20名参加
- 11月25日 コロナ対策で中止していた館内の接触型映像展示を復活させる。
- 12月4日 企画展ギャラリートーク 大学生ら40名参加
- 12月10日 ボランティアによる船体すすはらい
- 12月20日 高校生平和大使ら50名来館
- 1月5日 ボランティアの会総会
- 1月18日 コロナ対策で中止していた館内のハンズオン展示を復活
- 2月8日 立命館大学国際平和ミュージアムボランティアガイド来館
- 2月10日 広島平和記念資料館ピースボランティアの会来館
- 3月11日 ペンシルベニア州立大学の学生24名来館

3月29日 静岡県高校生平和大使・高校生1万人署名実行委員会来館

【対外活動】

5月6日 国民平和行進出発式で奥山代表理事挨拶
7月18日 日本山妙法寺平和行脚出発式 市田学芸員挨拶
7月24日 原爆犠牲者追悼のつどいで安田和也専務理事挨拶
10月14日 NHK アナザーストーリーズ 「岡本太郎現代を撃つ」山村茂雄顧問出演
3月1日 久保山愛吉墓前祭で山本義彦理事挨拶

【取材協力・資料提供】

6月10日 エフコープ生活共同組合「知って学ぼう 平和クイズ」写真提供
6月10日 映画「For You 人のために」（松本和巳監督）撮影
6月23日 杉並チューニング・フォー・ザ・フューチャー 取材協力
7月14日 被爆77周年原水禁世界大会 写真提供
7月28日 小学館 『学習まんが日本の歴史』写真提供
10月8日 東京書籍高校指導者用デジタルブック
10月20日 中国新聞ジュニアライターの記事に写真提供
11月12日 昭和女子大 船体写真等資料提供
1月16日 道の駅かでな学習展示室グラフィックパネルに写真提供
1月17日 新竹文化局（台湾）図録への写真提供
1月19日 社会保険新報 館内撮影協力
2月6日 立命館大学国際平和ミュージアム展示・図録への写真提供
2月15日 杉並女性連絡会 国際女性デー図録への写真提供
3月10日 平凡社 別冊「太陽」への写真提供
川井龍介『数奇な航海』（旬報社）取材協力
SAPIX 小学6年社会 写真提供

【主な報道】

8月21日 中日新聞・広域三重版「伊勢・児童ら牛乳パックで模型作り」
11月6日 朝日中高生新聞「世界初の水爆実験から70年で考える」
11月11日 朝日小学生新聞「ビキニ事件で広がった核廃絶署名運動」
11月28日 朝日新聞「まちの記憶 夢の島」
11月24日 東京新聞 「世界の被ばく者の声に触れて」

【ボランティアの会】

- 5月11日 福竜丸だより発送作業
- 7月6日 福竜丸だより発送作業
- 9月6日 福竜丸だより発送作業
- 11月8日 福竜丸だより発送作業
- 1月5日 総会・学習会
- 3月9日 福竜丸だより発送作業

【行政庁との連絡等】

- ・委託業務定期報告毎月初め、東部公園緑地事務所管理課
- ・新木場連絡会（夢の島公園施設と新木場地域企業との情報交換）隔月開催

2. その他の事業

- ① 書籍・ミュージアムグッズの頒布
- ② 出版事業 執筆者の都合などでブックレット出版企画などは次年度に繰り越した。

3. 法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した。

- ・2022年5月1日 理事会対面（展示館資料室）・オンライン併用
- ・2022年5月22日 評議委員会対面（学士会館）・オンライン併用
- ・2023年3月25日 理事会対面（展示館資料室）・オンライン併用

賛助会員は以下のとおりである

	2022年4月1日	2023年3月31日
賛助会員（個人）	283	271
賛助会員（団体）	53	53
ニュース購読会員	105	102